



イーソル株式会社

2022年12月期 第2四半期決算説明資料

2022年8月10日

本日の内容

1. 2022年12月期 第2四半期決算概要
2. 2022年12月期 通期業績予想の修正
3. トピックス

1. 2022年12月期 第2四半期決算概要

第2四半期決算の概要（計画値との差異）

- 売上高：組込みソフトウェア事業において自動車関連向け製品販売の下半期にスライドしたこととエンジニアリングサービスが計画を下回ったことやセンシングソリューション事業において車載プリンタ関連の売上がスライドして計画どおりに進展しなかったことなどにより、全体で売上が計画を下回った。
- 営業利益：売上高の計画未達に加え、開発投資が計画を上回ったことや、関係会社との間の取引で発生した未実現利益の調整により、計画未達となった。

（百万円）

2022年第2四半期	計画	実績	増減額	増減率
売上高	4,693	4,110	▲582	▲12.4%
組込みソフトウェア事業	4,418	3,920	▲498	▲11.3%
センシングソリューション事業	274	228	▲45	▲16.7%
連結調整	—	▲37	▲37	—
営業利益	▲188	▲470	▲282	—
組込みソフトウェア事業	▲178	▲407	▲228	—
センシングソリューション事業	▲9	▲33	▲24	—
連結調整	—	▲30	▲30	—
経常利益	▲88	▲397	▲308	—
当期純利益	▲94	▲423	▲328	—

（注）連結調整は見積もりできないため、計画には含めていません。

第2四半期決算の概要（前期比）

- 売上高：組込みソフトウェア事業、センシングソリューション事業ともに売上高が減少し全体で減収となった。
- 営業利益：売上高の減少に加え、車載ソフトウェアプラットフォーム向け自社製OSの開発投資の増加により減益となった。
- その他：前期に引き続き、NEDO*の研究開発プロジェクトの収入を営業外収益に計上した。

セグメント別の詳細：P6 得意先セクター別の詳細：P9

*NEDO：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

	(百万円)		
	2021年 第2四半期	2022年 第2四半期	前期比
売上高	4,546	4,110	▲9.6%
売上原価	3,007	2,792	▲7.2%
リビジョンアップ	300	287	▲4.2%
売上総利益	1,539	1,318	▲14.3%
販売費及び一般管理費	1,296	1,789	+38.1%
研究開発費	465	759	+63.0%
営業利益	242	▲470	—
経常利益	478	▲397	—
当期純利益	342	▲423	—

前期比増減の
詳細：P8

開発投資（研究開発費+リビジョンアップ）の詳細：P7

セグメント別の業績（前期比）

（百万円）

セグメント別の売上	2021年 第2四半期	2022年 第2四半期	前期比
売上高	4,546	4,110	▲9.6%
組込みソフトウェア事業	4,108	3,920	▲4.6%
組込みソフトウェア製品	895	832	▲7.0%
エンジニアリングサービス	3,212	3,087	▲3.9%
センシングソリューション事業	398	228	▲42.7%
連結調整	40	▲37	—
売上総利益	1,539	1,318	▲14.3%
組込みソフトウェア事業	1,338	1,269	▲5.2%
センシングソリューション事業	153	79	▲48.5%
連結調整	46	▲30	—
営業利益	242	▲470	—
組込みソフトウェア事業	158	▲407	—
センシングソリューション事業	37	▲33	—
連結調整	46	▲30	—

■組込みソフトウェア事業

組込みソフトウェア製品、エンジニアリングサービスとも自動車関連の売上が減少

エンジニアリングサービスでは、医療・福祉関係の売上が増加

■センシングソリューション事業

車載プリンタ関連の売上が大幅減

開発投資の状況（前期比）

■ 開発投資の基本方針

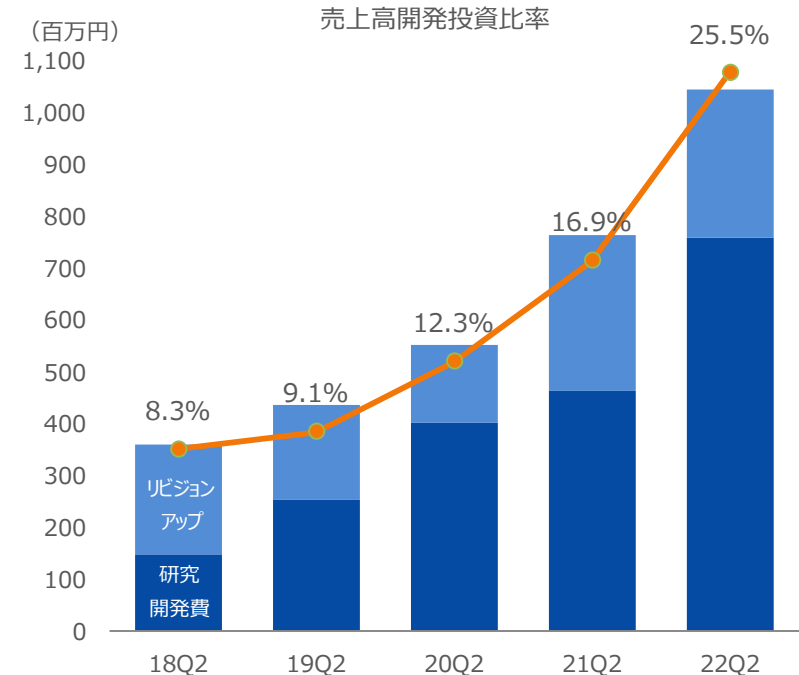
売上高の10%程度を基準に、毎期、開発投資を継続して行い、自社製品のさらなる高機能化を目指す。

■ 今期の方針

当社が主要ターゲットとして位置付けている自動車市場で進む「つながる車」に向け、売上高比率10%を超えた開発投資を継続。
 （「つながる車」の新車販売は、世界で2035年に2020年比 2.9倍に増える見込み（富士経済調べ））

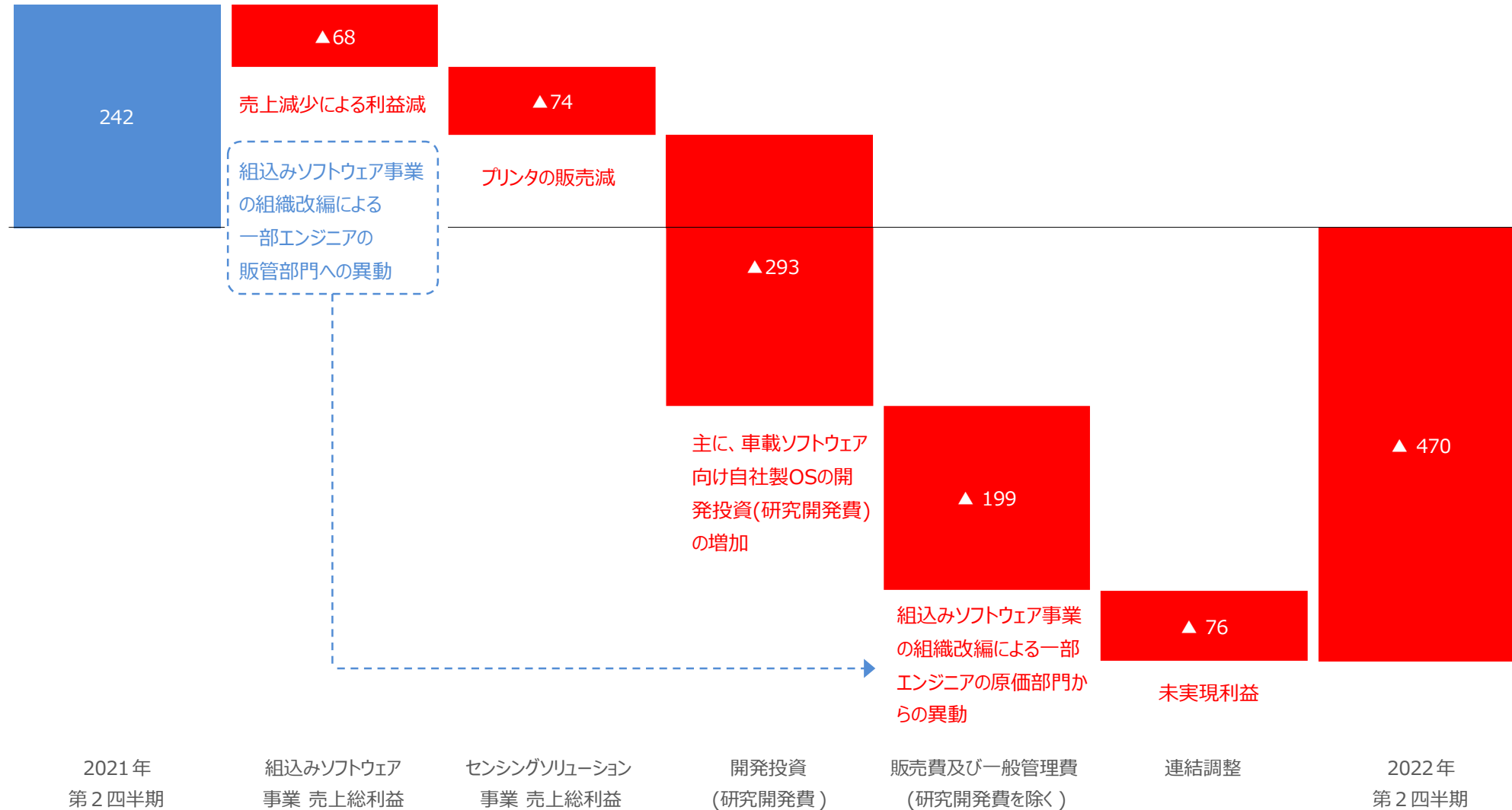
	(百万円)			
	2021年 第2四半期	2022年 第2四半期	△	前期比
売上高	4,546	4,110	▲436	▲9.6%
開発投資額	766	1,047	+280	+36.6%
研究開発費	465	759	+293	+63.0%
リビジョンアップ	300	287	▲12	▲4.2%
売上高開発投資比率	16.9%	25.5%	—	—

研究開発費	- 新規製品の開発に対する投資 - 販売費に計上
リビジョンアップ	- 既存製品のバージョンアップに対する投資 - 売上原価に計上



営業利益増減要因（前期比）

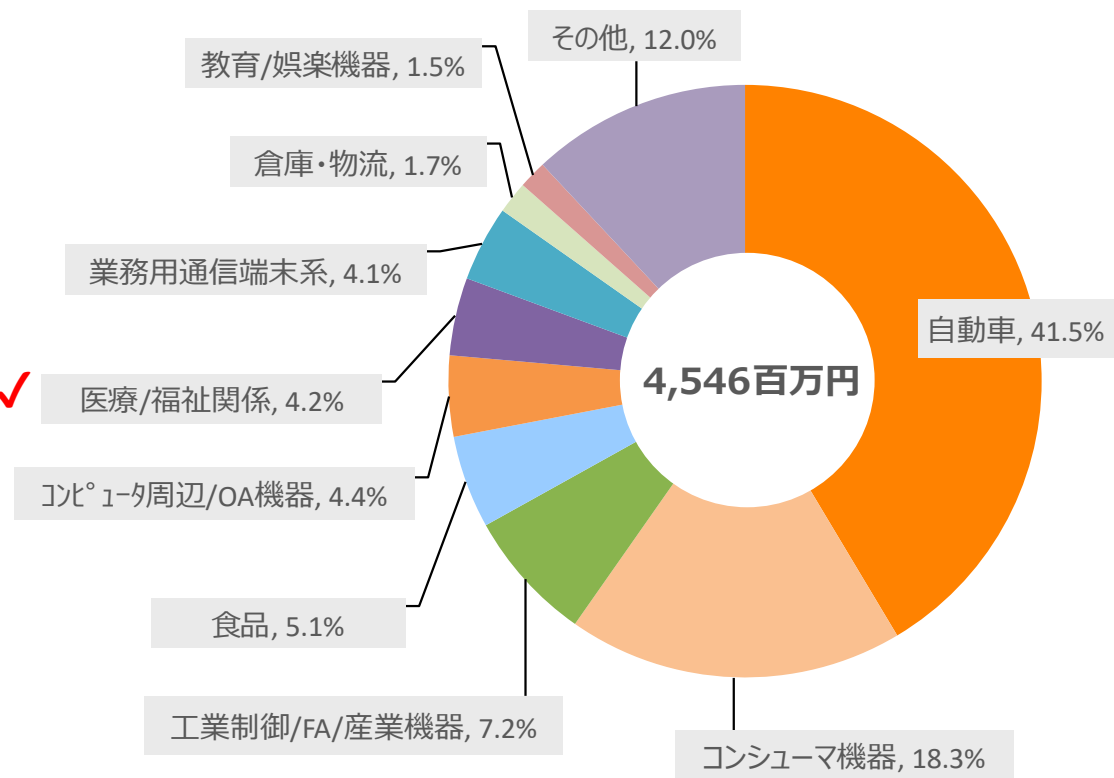
(百万円)



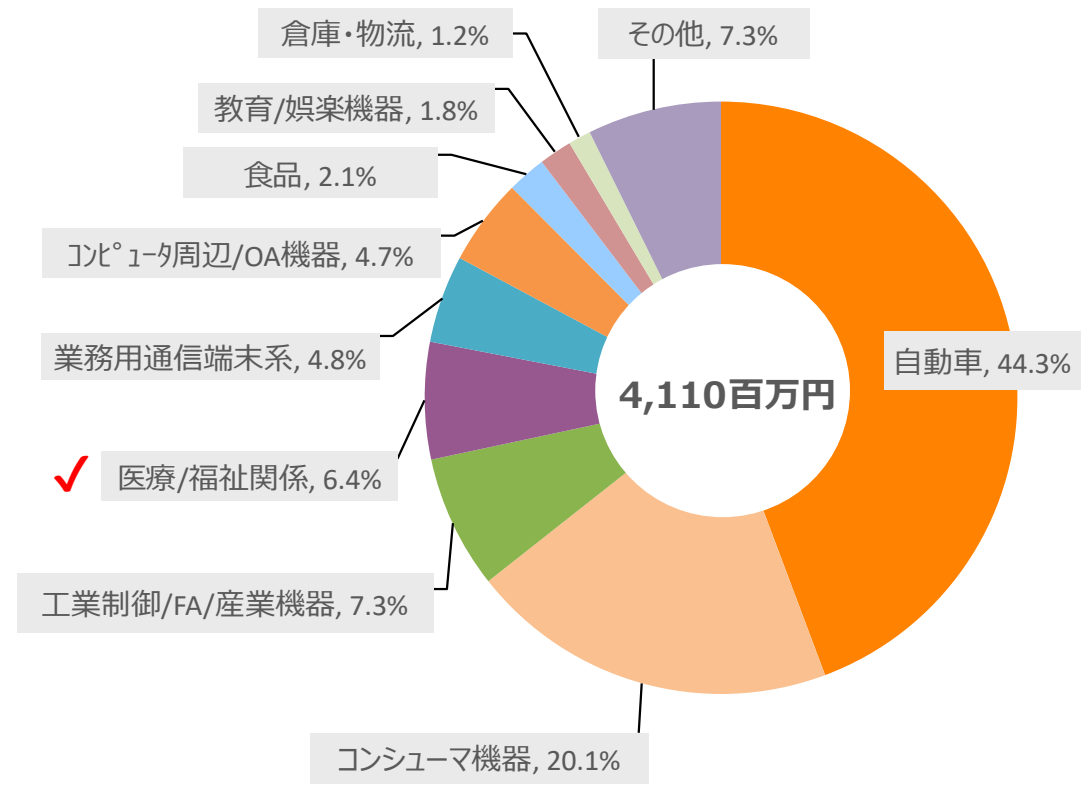
得意先セクター別の売上割合（前期比）

✓ 医療／福祉関係向けが伸長

(注) 「その他」は連結調整を含む



2021年 第2四半期



2022年 第2四半期

2. 2022年12月期 通期業績予想の修正

修正の理由

- 組込みソフトウェア事業における、自動車関連向けエンジニアリングサービスの一部見直し
- センシングソリューション事業における、車載プリンタ関連の売上の翌期へのスライドなど
- 開発投資は、車載ソフトウェアプラットフォーム向けの自社製OSの開発を効率化を図りながら推進

(百万円)

セグメント別	前回予想 (2022/2/14)	今回予想 (2022/8/10)	増減	
			増減額	増減率
売上高	10,022	9,068	▲954	▲9.5%
組込みソフトウェア事業	9,341	8,532	▲809	▲8.7%
センシングソリューション事業	680	573	▲106	▲15.7%
連結調整	—	▲37	▲37	—
営業利益	▲264	▲398	▲133	—
組込みソフトウェア事業	▲275	▲333	▲57	—
センシングソリューション事業	10	▲34	▲45	—
連結調整	—	▲30	▲30	—
経常利益	▲160	▲319	▲158	—
当期純利益	▲180	▲399	▲219	—

(注) 連結調整は見積もりできないため、前回予想には含めておらず、今回予想の連結調整は2Q累計値。

開発投資額	2,052	1,888	▲163	▲8.0%
-------	-------	-------	------	-------

計画の概要（「つながる車」に向けた開発投資）

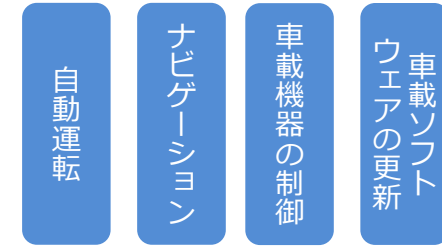
■自動車業界の動向 - 「CASE」の潮流

Connected（つながる車）

Autonomous（自動運転）

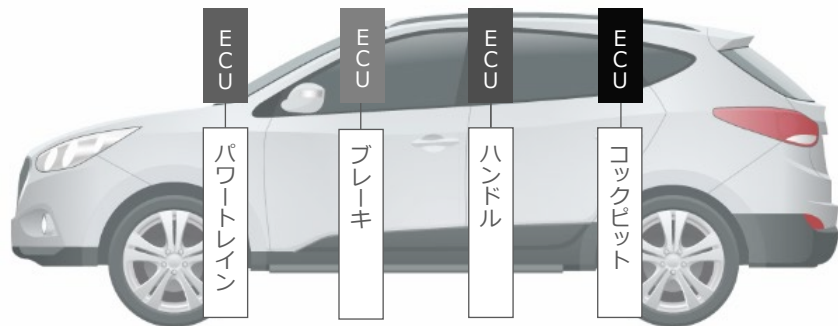
Shared & Service（シェアリング サービス）

Electric（電動化）

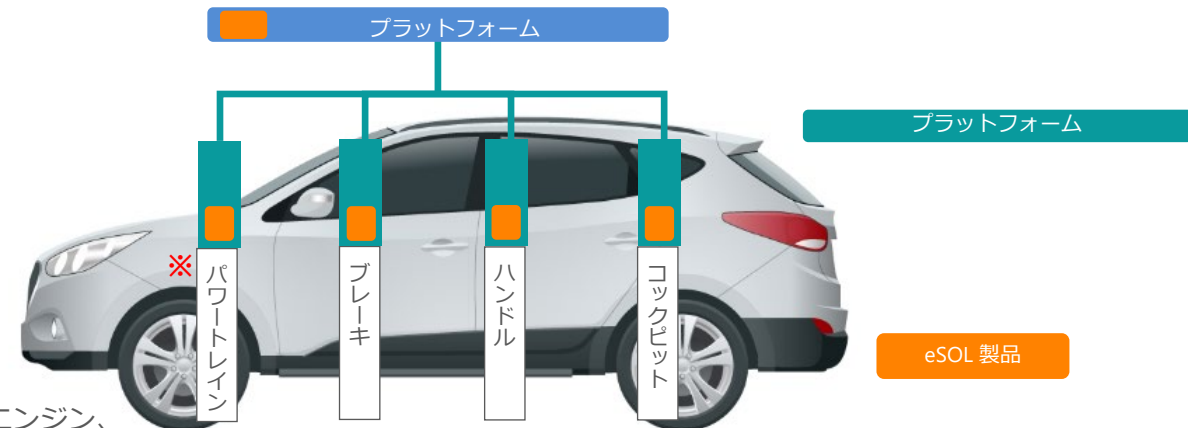


■開発投資の内容

「つながる車」のプラットフォームに向けた自社製OSの開発



<ドメインごとに進化した車載ソフトウェア>



※ パワートレイン：エンジン、EV (電気自動車)、PHV、FCV...

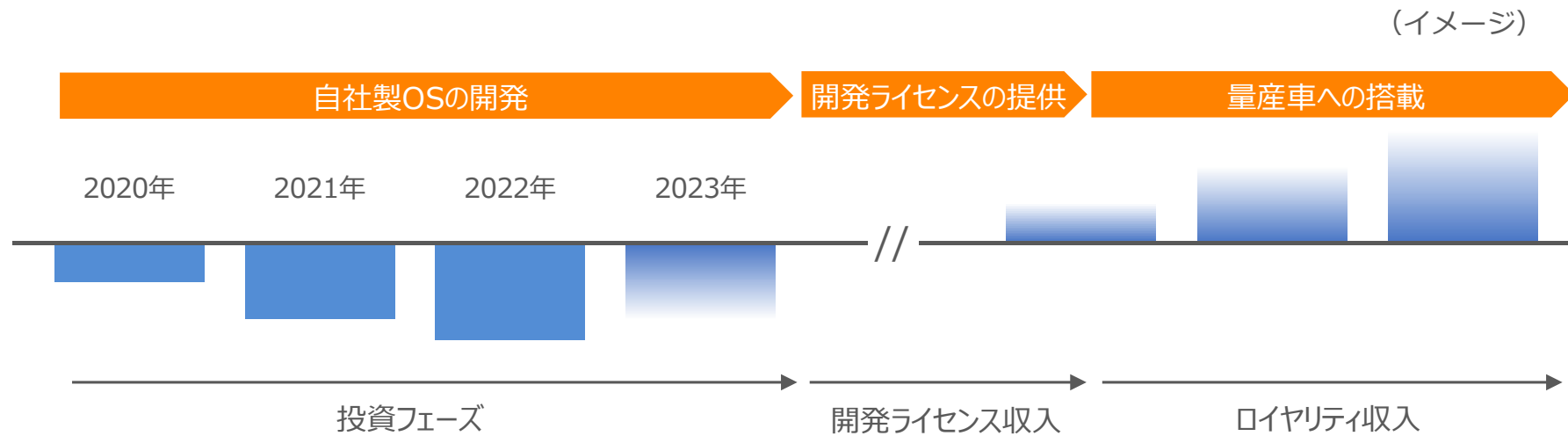
<AUTOSAR*規格のプラットフォーム>

*当社が参画する自動車業界のグローバル開発パートナーシップ

計画の概要（投資の効果）

■ 「つながる車」に向けた開発投資の業績への貢献

「投資フェーズ」から「開発ライセンス収入」「ロイヤリティ収入」に向け、開発を加速



計画の概要（株主還元）

次の方針に基づき、株主のみなさまへの還元を図ってまいります。

■ 配当政策

財務基盤の安定化

業績に応じた安定した配当性向

内部留保による企業価値向上への投資（開発投資、人材育成など）

■ 配当の額

今期は、前年比減益予想ではありますが、これは将来収益獲得のための開発投資の増加によるものであるため、配当額は、前年同額を計画しております。

	2019年	2020年	2021年	2022年
1株当たり配当金	*5.50円	5.50円	5.50円	5.50円
（うち中間配当金）	(0.00円)	(1.50円)	(1.50円)	(1.50円)
配当性向	17.0%	16.6%	55.8%	—

*うち、記念配当1.50円

3. トピックス

最近のプレスリリースから

4社共同で、NEDO委託事業の成果をRISC-V向けのOSおよび開発ツールソリューションとして事業展開を強化

2022年6月2日リリース

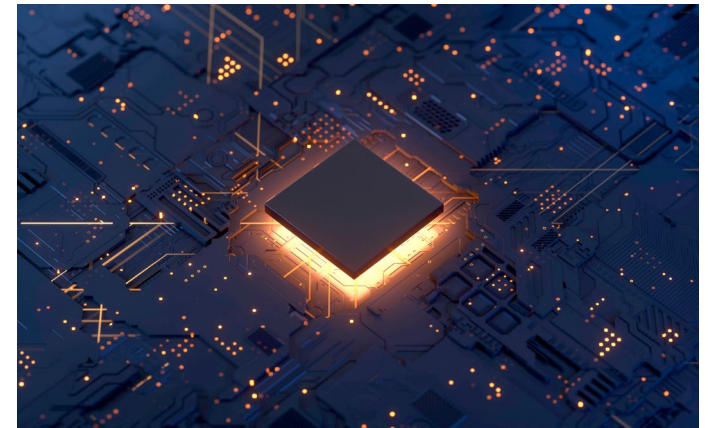
2020年7月から当社を含め4社共同で進めてきた、RISC-V* 向けOSと開発ツールの開発のフェーズを研究開発段階から市場投入を見据えた段階に進め、事業化に取り組んでまいります。

https://www.esol.co.jp/press/press_570.html (2022年6月2日リリース)

https://www.esol.co.jp/press/press_464.html (2020年8月12日リリース)

https://www.nedo.go.jp/koubo/IT3_100124.html (NEDOのサイト)

*RISC-V (リスク ファイブ) は、オープンソースのCPUアーキテクチャとして多くの企業からの採用が期待されています。



最新の海外マーコム活動

Embedded Worldは、組み込みシステムに関する最先端の技術が一堂に会する世界の主要な組み込み・IT関連企業が出展する展示会です。

2年ぶりにリアル開催が復活した **Embedded World 2022** (2022年6月21日~23日@ドイツ)に出展し、EU各国のニュース記事に掲載されました。



開催形式：ハイブリッド（リアル&オンライン）
出展社：720社
来場者：18,000人 + オンライン3,900人



◇ プレスブリーフィング：ジャーナリストへの説明

[L'Embarqué](#), France; [Endeavor Business Media](#), US; [All-Electronics](#), Germany; [Elektor](#), Netherlands; [Selezione di Elettronica](#), Italy; [Aspencore](#), Global; [Revista Española de Electrónica](#), Spain; [Open Systems Media](#), UK; [Elektroniknet.de](#), Germany; [Euro Standard Press 2000](#), Romania

◇ メディアカバレッジ：記事掲載（一例）



20件以上のWeb
ニュース記事を獲得

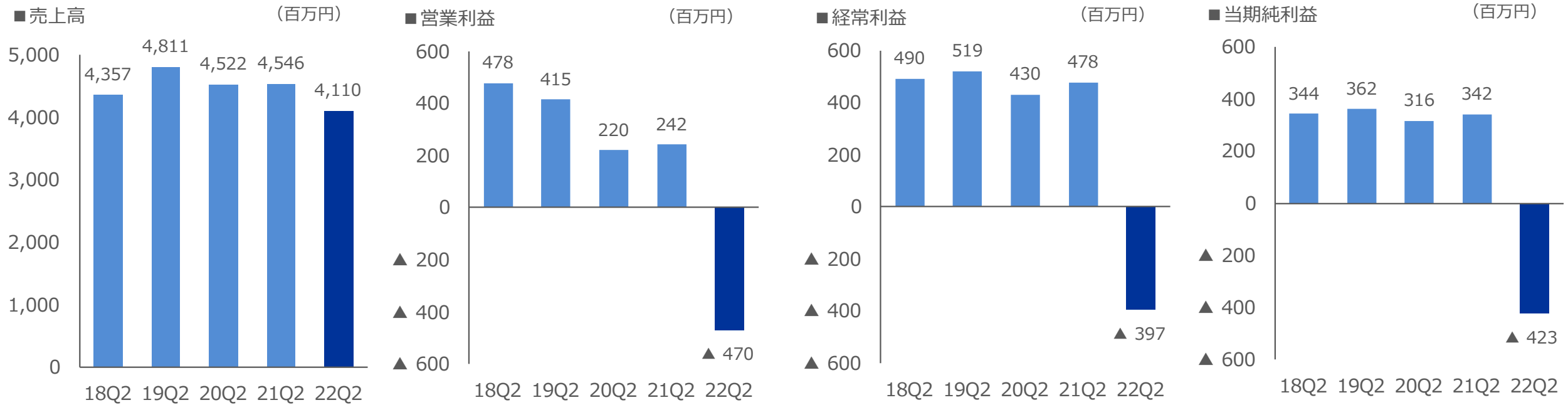


イーソルのビジョン

- イーソルは取引先様、ビジネスパートナーの皆様、株主の皆様と共に歩み、応援してもらえる企業を目指します。
- 組み込みソフトウェアの分野で、独自のソフトウェア製品の開発から多様なニーズに対応するエンジニアリングサービスまでをワンストップで提供できる世界的にも希少な企業として、今後も事業を拡大してまいります。
- 上場企業として、事業を通して、取引先、従業員、株主、全てのステークホルダーの価値向上を目指します。
- 株主の皆様には、1株あたりの利益の最大化を図り、企業価値向上を目指します。

ご参考資料

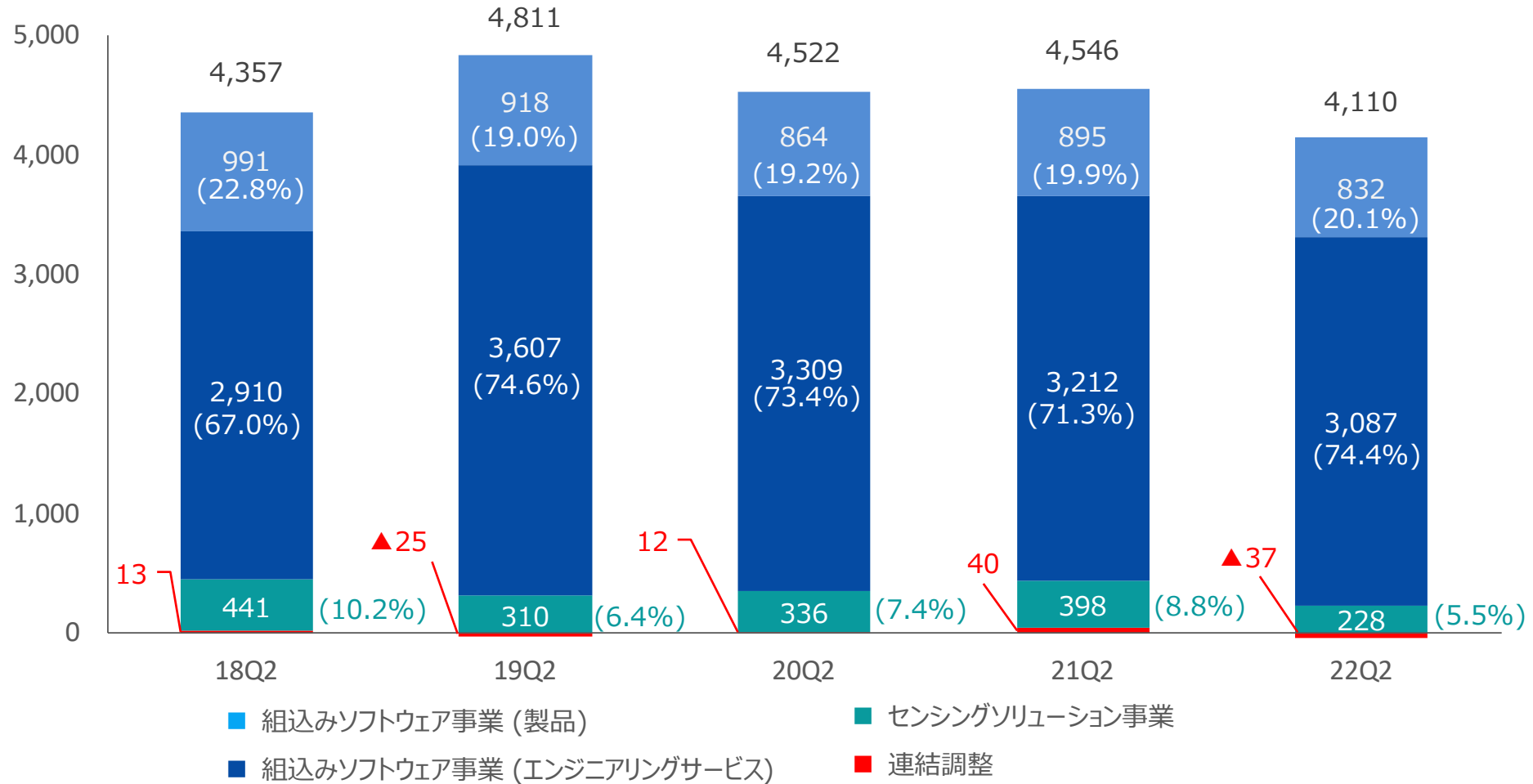
過去 5 年間同期比較



過去5年間同期比較 (セグメント別の売上高)

(百万円)

各割合は、連結調整前の組込みソフトウェア事業とセンシングソリューション事業の合計に占める割合



過去5年間の開発投資

(百万円)

	2018年第2四半期	2019年第2四半期	2020年第2四半期	2021年第2四半期	2022年第2四半期
研究開発費	148	255	402	465	759
リビジョンアップ	213	182	151	300	287
開発投資合計	362	438	554	766	1,047
売上高	4,357	4,811	4,522	4,546	4,110
売上原価	3,024	3,313	3,050	3,007	2,792
リビジョンアップ	213	182	151	300	287
売上原価 (除くりビジョンアップ)	2,810	3,131	2,899	2,707	2,504
売上総利益	1,332	1,497	1,471	1,539	1,318
売上総利益率	30.6%	31.1%	32.5%	33.8%	32.1%
売上総利益 (除くりビジョンアップ)	1,546	1,680	1,623	1,839	1,606
売上総利益 (除くりビジョンアップ) 率	35.5%	34.9%	35.9%	40.5%	39.1%
販売費及び一般管理費	853	1,082	1,251	1,296	1,789
研究開発費	148	255	402	465	759
販売費及び一般管理費 (除く研究開発費)	705	827	848	830	1,029
営業利益	478	415	220	242	▲ 470
営業利益率	11.0%	8.6%	4.9%	5.3%	-
営業利益 (除く開発投資)	840	853	774	1,009	576
営業利益 (除く開発投資) 率	19.3%	17.7%	17.1%	22.2%	14.0%
営業利益 (除く研究開発費、含むリビジョンアップ)	626	670	623	708	288
営業利益 (除く研究開発費、含むリビジョンアップ) 率	14.4%	13.9%	13.8%	15.6%	7.0%

本資料の取扱いについて

本資料には、将来の見通しに関する内容が含まれておりますが、本資料作成時点において入手可能な情報に基づいて作成されたものであり、リスクや不確実性などを含むため、将来の経営成績などの結果を保証するものではありません。

したがって、実際の結果は、環境の変化などにより、本資料に記載された将来の見通しと大きく異なる可能性があります。

上記のリスクや不確実性には、国内外の経済状況や当社グループの関連する業界動向などの要因が含まれますが、これらに限られるものではありません。

今後、新しい情報・事象の発生などがあつた場合においても、当社グループは、本資料に含まれる将来に関するいかなる情報について、更新・改訂などを行う義務を負うものではありません。

また、本資料に含まれる当社グループ以外に関する情報は、公開情報などから引用したものであり、当社グループは当該情報の正確性、適切性などを保証するものではありません。

お問い合わせ先

イーソル株式会社
社長室 IR担当

e-mail : esol-ir@esol.co.jp

当社WEB : <https://www.esol.co.jp/>